

寒締めに適するレタスの検索

福島県農業総合センター 作物園芸部
平成19年度農業総合センター試験成績概要

1 部門名

野菜 - レタス - 品種、作物栄養、作型・栽培型
分類コード 03-28-01121800

2 担当者

佐藤睦人・二階堂英行

3 要旨

寒締めに有望な品種として、「サリナス88」、「シリウス」、「レッドウェーブ」及び「レッドリッチ」が考えられた。コスレタスでは、「コスタリカ2号」及び「コスチューム」がよいと考えられるが、安定出荷には寒締め期間等の検討が必要と思われた。寒締めによる糖度及び食味変化には、フルクトースとスクロースの増加、甘味アミノ酸及び苦味アミノ酸の増減が影響していることが考えられた。

- (1) クリブヘッドレタスは全品種とも、寒締めによる糖度の増加が認められ、「コスタリカ2号」と比べ低温性障害の発生が少なかった。商品性、食味性及び低温性障害から「シリウス」、糖度増加から「サリナス88」が有望と考えられた。
- (2) リーフレタスは全品種とも、寒締めによる糖度が増加する傾向がみられ、「コスタリカ2号」と比べ低温性障害の発生が少なかった。商品性、食味性及び低温性障害から判断し、「レッドウェーブ」及び「レッドリッチ」が有望と考えられた。
- (3) コスレタスは糖度及び生育の品種間の差が大きく、低温性障害は多く発生する傾向がみられた。「コスタリカ2号」と比較し、商品性が同等、糖度の増加がみられ、食味が良い品種として「コスチューム」が上げられた。
- (4) 品種間に差がみられるが、フルクトースはコスレタス2品種で、グルコースは「コスチューム」で、スクロースは4品種で寒締めにより値が高くなった(5品種供試結果)。
- (5) 品種間に差がみられるが、甘味アミノ酸は3品種で値が高く、苦味アミノ酸は3品種で値が低くなった(5品種供試結果)。

4 その他の資料等

- (1) 普及に移しうる成果(2006)南東北地域に適する寒締め新規品目